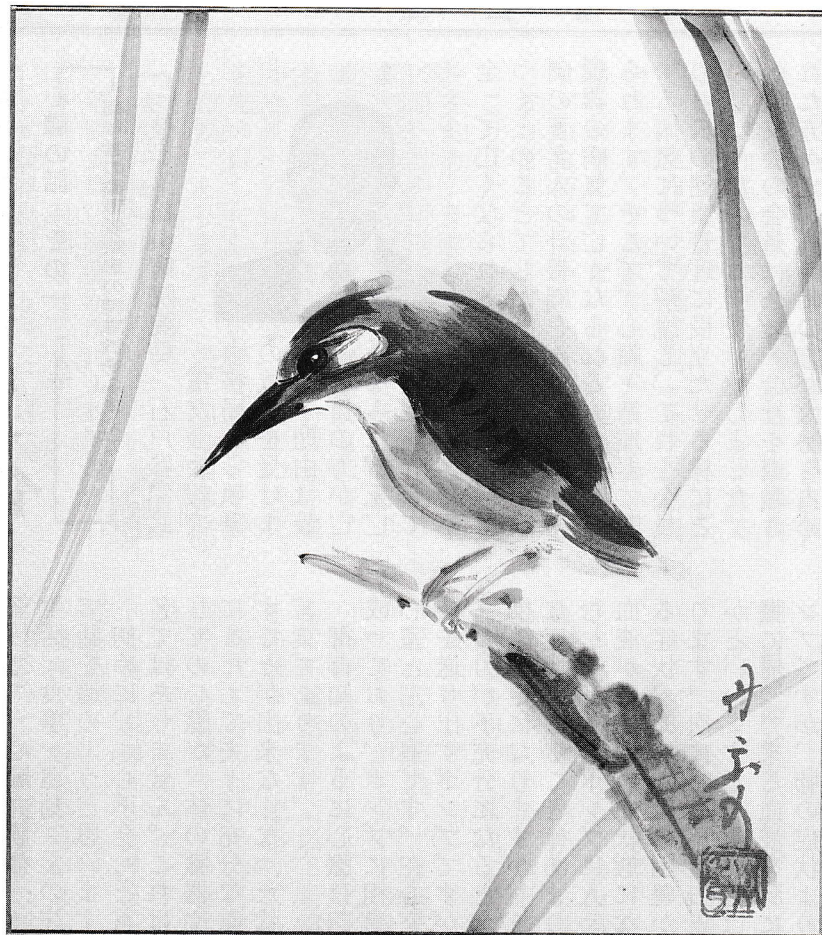


四国愛友会会報

第 82 号

5 年 4 月



目 次

健康のページ（NTT松山病院院長）	2
お知らせ	3
NTTだより	3
目が離せない競争	3
今、反撃の時がきた	4
トクトクFAXダイヤル	5
余 栄	5
私は今	5
現役とOBの交流	10
テルウェルだより	11
敬 弔	13
サークルだより	13
高齢者通信大学の紹介	13
仲谷 昭	13
本の紹介	14
穴吹 義教	14
随 想	15
向井 満男	15
井上 政夫	15
北 哲朗	15
小倉 浄一	19
岡田 恂三	19
表紙の言葉	19
題 字	19

健康のページ

心臓の話(その一)

高齢者の循環器疾患の特殊性をふまえて



NTT松山病院院長 石戸谷 武



電友会会報の事務局から執筆の依頼を受けました。理由は最近会員の方が亡くなる死因を集計してみると、「心不全」で亡くなる方が多いのが目につくとのことでした。確かに日目の新聞の著名人の訃報欄をみると心臓・循環器の病気で亡くなる方が多くみられます。そこで、心臓・循環器に関する病気について解説し、これを会員の日日の健康管理に役立たせる様にとの話だったのでお引受け致しました。

電友会の会員は公社・会社を退職された方々で、高齢の方が大勢を占めております。人間の体の仕組みや機能は高齢になると、青年・中年時に比べて、個人差は大きいけれども老化による変化を無視出来ません。心臓・循環器も例外ではありません。むしろ「老化は血管から始まる」と言われる位密接な関係にあります。従ってこのシリーズでは、高齢者の特殊性を念頭におい

て高血圧、虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)、心臓弁膜症、不整脈、日常生活(食事・運動)上の注意等について話を進めようと思います。

初めに、「心不全」と言う言葉は病名ではありません。これは「ポンプとしての心臓が、体の臓器や組織の需要にこたえて夫々に充分な血液を送り出すことが出来なくなった状態」をさす言葉であります。

御存知のように心臓は四つの室から成っており、ポンプに相当するのが右心室と左心室です。左心室は全身へ血液を送り出すポンプですが、このポンプの力が不十分になると全身への血液供給不足になります。このことが主な症状となることはあまりありません。むしろ、左のポンプに入ってくるべき血液が肺にうつ血状態になることによる症状、即ち呼吸の困難が主症状になります。次に右心不全のときにはどうかといえます。右心室は全身から心臓に帰ってくる血液を肺に送り出すポンプですが、肺の症状よりも、右心室に入ってくる前の静脈系のうつ血状態が主な症状として見られます。肝臓のうつ血による肝腫大とか、下肢・足の甲のうつ血による浮腫(むくみ)として現れます。

左心不全、右心不全が別々に来るとは限りません。多くの場合左も右も互に影響を及ぼしあって症状が出て来ま

す。

一 高血圧

遺伝のことを考えないと、人間は加齢と共に血管壁の石灰化や脂肪沈着の結果、動脈壁の硬化が進み、血管抵抗も増え、血圧は徐々に高くなります。

高血圧によって心臓に負担が加わると、心筋は肥大して収縮力を強め、血液を押しだす量を保とうとします。従って基本的には高血圧のある時の心臓の肥大は、高血圧の程度と高血圧が続いた期間によって決まると考えられます。ここに基本的と言ったのは、高血圧を示す人の心肥大には可成りの個人差があり、軽い高血圧でも肥大の強い人、薬で血圧を下げていても心肥大が改善しない人、腎や眼底に障害が出る程の高血圧なのに心肥大の軽い人等の場合があるからです。このことは心臓の肥大が単に血圧の負荷だけで起るのではなく、体の神経因子、体液因子によっても影響されることを示します。高血圧で心臓が色々な面で障害を受け、悪化して来た時に示す症状の一つがうつ血性心不全で、先に述べた左心のポンプの不全によって起ります。

高血圧が出て来てすぐに心不全症状を示すことはありません。心筋が収縮力増加のために肥大し、代償している間は不全症状は出て来ません。代償出来なくなると心も拡大し、心不全を起して来ます。だから高血圧の人の心臓

には左心室肥大を示すものから、左心室内腔の拡張しているものまで様々な型があるといえます。従って健康診断などで高血圧と言われている人は、常日頃血圧を測ることも大切ですが、定期的に心電図（電気的な肥大の有無と心筋の虚血の程度をみる）、胸部写真（心臓の大きさ、肺のうっ血度合をみる）の他に心エコー検査（心内腔の拡張具合、心筋の肥大の程度をみる）等を行って高血圧の進み具合をチェックすることも大切です。

左心室内腔の拡張が起って来ている場合は心不全準備状態とも言えるもので、血圧が急に高くなったり、感染や過労などの負荷が加わると心不全の引き金となります。

こうした心不全を起す前に自分の血圧を知り、正常域内に保つために家庭に血圧計を用意するのも一方法であります。血圧の治療は薬物だけに頼らず、食事面では減塩食（一日量10g以下）を守り、更に運動（例…30分以上の速歩を一日二回）によって血管の老化を先のばしにして動脈硬化を防ぐことも必要であります。（最終回の項参照）

お知らせ

各県支部の総会が次により開催されますので、お知らせします。

・愛媛県支部 五月二〇日（木）
愛媛県民文化会館 午前二時から



・香川県支部 五月一四日（金）
玉藻公園内 披雲閣 午前二時から
・徳島県支部 五月一三日（木）
徳島厚生年金会館 午後三時から
・高知県支部（未定）

NTTだより

目が離せない競争



松山支店広報課長

弓達 平

「金太郎アメ」は、子供の頃を懐かしく思い出させる。松山風にいえば、毎年旧正月に、椿祭りの縁日で見かける「おたやんアメ」がそれである。

どこを切っても同じで、愛敬のある顔は面白い。

しかし、面白いでは済まされなくなってきたのが、NTTの現状である。今、全国のNTTのどこを切っても、新電話会社（以下新電電という）との競争のことばかりである。

特に、今年は、一〇月に新電電が発信先から着信先までの通話料金を、自由設定できる「エンド・ツウ・エンド料金」を導入しようとしているからである。

現在、新電電の料金は「足し算料金」で、いってみれば三枚の切符を持つていようなものである。

幹線網だけで市内網を持たない新電電は、その幹線網の両端をNTTの市内網に接続して、お客様とお客様を結んでいる。

このお客様からお客様までの料金を、新電電側が自由に設定できることになると（新電電側の幹線網とNTTの市内網及び一部の幹線網を含めた料金を、新電電側が独自に決める。この場合、NTTの市内網等の料金は、NTTが決めた額で、新電電側がお客様に変わって支払うことにはなる）、新電電側の競争力が非常に高まることになるので、NTTとしても、これまで以上に危機感がつのことは当然である。

現在の料金比較では、昼間三分間の長距離料金が、NTTでは二百円、新電電では一八〇円となっているが、NTTは、これを同一料金に引き下げていくことにしている。

しかし、新電電側も対抗して、更に値下げをする考えを示している。

NTTが苦境に陥れば、設備投資も研究開発も遅れ、高度情報化社会構築の実現に支障をきたす恐れがある。

ここはひとつ原点に立ち返って、何のための競争なのかということを、真剣に考えるときではないかと思う。

今、「NTTの金太郎アメ」を切ると、先ず新電電との競争の顔が出てくる。議論していたり、叱ったり、乗せたり、その中によく知っている人の顔

も出てくる。

厳しい顔をした「金太郎アメ」は、様々なことを考えさせてくれる。我々現役と先輩の皆様が、ニコニコ笑った優しい「金太郎アメ」に出会えるのは、いつのことになるか努力しだけである。

●NTT各支店から、OBに対する要望等についての原稿を、募集させていただきます。事務局までお寄せください。次号は七月一日発行です。

今、反撃の時がきた

NTT四国では、NCCの急激な進行に歯止めをかけるため、今、懸命にNCC対策を推進している。

平成二年六月、DDI（第二電電）が高松にPOIを設置すると同時に始まった市外通話部分での競争は、昨年八月、JT（日本テレコム）が高知にPOIを設置してサービスを開始したことにより、四国全域で全面的な競争時代を迎えることになった。

NCCのシェアは、昨年六月一九日、遠距離通話料の値下げを行ったにもかかわらず、増加傾向にあり、企業などの事務用回線は、その約三〇%がNCCの契約者となっている。

また、企業以外の住宅用回線までが最近NCCへ移り、そのシェアが一〇%余りにもなっている。

平成四年度のNCC全体のダイヤル

通話料収入は、一六〇億円を越えるものと予想され、およそ一八%のシェアを占めることになるが、それだけにNTT四国の受けるダメージは大きい。本年七月には、ALL-ID化により、NCCを利用契約する際の個人負担金（ID登録料二千円）が不要になるほか、一〇月のNCCのエンド・エンド料金制度導入により、NCCは、通話時間の長短やPOIからの距離にかかわらず、戦略的な料金設定が可能になることから、この機会をターニングポイントとして、全力で攻勢をかけてくるものと予想されている。

そこで、NTT四国としては、NCCがエンド・エンド料金制度を導入する一〇月までに、シェア確保に向け全力投球することが、緊急の課題となっている。

その第一段階が、新聞でも報道されたように、支店営業部門の強化、支社からの人材派遣による支店支援、NCC対策用テレビコマーシャルの実施などを強力に推進することであった。

なお、NTT四国支社では、誰にでもできるNCC対策として、次の四つのことを全社員で実施している。

その一つは、「NCCは安いという神話の切り崩し」である。

多くのお客様は、NCCを使えば安くするという誤解をしている。実際はどうだろうか、NTTの調査によれば、

九〇秒以内の平日昼間の通話なら、全てNTTがお得である。

また、全ての通話の六四%が九〇秒以内という事実も判明している。NCCの利用は決してお得とはいえないのである。

その二つは、「テレジョーズのご案内」である。

昨年四月に販売を開始した通話料金の月ぎめ割引サービスがそれであるが、暮れの一二月に全国で契約数は一〇〇万件を突破した。四国でも既に二万件を越え、順調に伸びている。

この評判のいい割引サービスを、今後は、シェア競争の主力商品として展開し、NCCへの歯止めとするので、知人、友人へのPRをお願いしたい。

その三つは、「LCR（低料金回線自動選択機能）」は本当にお得か？」という問いかけである。

名前の通り、通話をするのに最も経済的な回線を自動選択する装置であるが、その判定基準は、三分通話となっている場合が多く、前述の調査結果から考えると、NCCの方が割高になるケースが生じている。LCRの正しい使い方は、使う前に時間設定を一分か二分に切り換えることである。

その四つは、「FAX回線の一〇〇%奪還」である。

FAXは短時間通信が多いし、FAX専用のF網は、NTTにしか無いの

で、この点をアピールして積極的な利用勧奨を行う。

以上四点を中心に、NTT四国では、シェアの確保、拡大に向けて一丸となつて頑張っている。

会員の皆様のご支援をお願いしたい。
(四国支社営業部 企画担当)

トクトクFAXダイヤル

NTTは、通話料金の比較をファクシミリで案内する「トクトクFAXダイヤル」サービスを、一月二月二日から開始した。

「トクトクFAXダイヤル」は、既に提供中の「トクトクダイヤル」(通話料金の比較を案内するテレホンサービス)のファクシミリ版で、指定した発信電話番号から全国主要都市(固定・二四地域)への通話料金を計算し、NCC(指定一社)とNTTのどちらが得かファクシミリで案内するサービスです。ダイヤル操作で任意の一〇地域への通話料金比較も可能です。

通話時間は、九〇秒と六〇秒で計算し、平日昼間、夜間、深夜と土・日・祝日など、それぞれの場合での通話料金を比較し教えてくれる。

このサービスは、プッシュ信号の送信できるファクシミリであれば、利用可能で、ダイヤル回線からでも利用できる。

なお、サービス時間は、二四時間の

自動応答サービスとなっている。

〈案内センター番号〉

- ・トクトクFAXダイヤル
- 一二〇〇一九七二四
- ・トクトクダイヤル(参考)
- 一二〇〇一九七二〇

余 栄 (死亡順)

従六位勲六等瑞宝章

故 山下 義明 (高松)

従六位勲五等瑞宝章

故 嶋崎 鶴喜 (須崎)



私は今

◇ 泉 井 文 (安芸)



落のとうが出てから、珍しく雪が降り、今年の寒さを身にかけております。仕事を退いたとき、何もない自分を知らされて、もう一〇年になります。今は花好きのおばさんになって、苗やさし木で、花一杯に努めています。自然の年はどうすることもできませんが、現在を維持して行けたらと願い、趣味に福祉関係と、カレンダーを見ながら、せつせと出かけており、それぞれの友達もできて、充実した毎日を過しています。

◇ 阿 部 時 秋 (伊予)

ユーザ協会を退いて、早くも自由学校の四年生、至って元気です。

一〇年前に免許を取り、もう地球を二周はしましたが、昭和一八年の石鎚登山以来、山歩きが大好きになり、今もペースを落して歩いています。

家の中は、いつも一歳半の孫が来て暴れてくれていますし、雨の日は時代小説が机上に待っています。

昨年は、由布院や草津などへも行きました。これからも車のほか、キャンノン・スケッチ・吟行など、できるだけ歩こうと思っています。

◇ 内 村 輝 男 (阿南)

早いもので退職して六年になります。在職中は高血圧に悩みましたが、数年前から、またたび酒(滋養強壮剤)、ゆず酒(動脈硬化の予防)の飲用、早歩き七千歩などの効用により、血圧は正常値となりました。

現在は囲碁に熱中(有段者特訓コースを受講中)して、毎日碁会所に通っています。

また昨年は、北海道などを旅行し、津軽海峡の海底駅見学、洞爺湖でのキャンプは、特にすばらしかったと思っています。

忙がしい毎日ですが、のんびりと余生を楽しんでいます。

◇ 青 野 好 春 (壬生川)

退職して一〇年、お陰さまで元気な毎日です。

地区集会所建設や民生委員等のお世話をさせて頂きましたが、その任期も終り、今では好きな旅行を楽しんでいます。

昨年は種子島と屋久島へ旅行し、一月には韓国へも旅行しました。

ソウルは近代高層ビルと、李王朝五百年の王都として栄えた所。いたるところに往時の栄華をしのばせる荘厳な城門や王宮、庭園が残っていて、歴史と伝統を今に伝えていきます。

四日間のソウルの旅でしたが、これからも元気で、いつまでも心に残る旅をしたいと思っています。

◇ 大 西 登美子 (高松)

第二の職場を退いて、三年になりました。

退職早々、ヨーロッパ旅行に誘われて、スイス、イタリア、フランス等へ楽しい、心に残る旅行をさせていただきました。

現職中是非行きたいと思っていた四国八ヶ寺への巡拝、史跡巡り、ハイキング、また、家庭菜園に挑戦する等、今は気楽に過していますが、元氣なうちに少しでもお役に立てばと思い、OB会のボランティア活動、園芸サ-

クル、「ふるさとを歩く会」等のお世話もさせて頂いています。

◇ 小 川 正 澄 (高知)

昨年の三月一杯で、お世話になったNTTプラザ高知を退職し、今はのんびりと四〇年間にたったあかを取り除き中、といったところでしょいか。

退職にあたり、今後の余生の過ごし方などについて、周囲の方々から色々アドバイスを受け、心の準備ができていたせいか、生活リズムの変化にもこれといった違和感もなく、今日に至っております。

とりわけ在職中からの願望であった釣、ゴルフに思い切り没頭し、体を動かし汗を流すこと、なかでも鮎の友掛けは、大自然の中で驚の鳴き声を聞きながらの野鮎との駆引に醍醐味があり、心身のリフレッシュには、最適だったと思っております。

釣果はゴルフの飛距離同様、体力の衰えもあって、昔に比べると満足のいくものではありませんが、無理せず長く楽しむことを念頭に置き、これからもエンジョイしたいと思っております。

◇ 大 野 忠 重 (松山)

朝起きたら、まず身漕の大祓いをするとともに、その日に死なれた先祖の方々に対し、供養のお祈りをします。それから室内で体操(腕立て伏臥五

〇回、足での竹踏み八百回、その他手足の運動七種類)をして、小瓶の青汁一本と牛乳(コップ一杯)を飲み、茶碗に半分ぐらいの御飯に納豆を入れてまぜ、カツオ梅干一個と小量のおかずで朝食をとります。

昼食は茶碗に八分目の御飯に、少量の野菜混じりのおかずを食べ、夕食はラーメン一個と魚や肉の中にホーレン草の混じったおかずを食べています。間食は極力しないように努力していますが、時々負けて食べるのが現状です。

私は六〇年五月に痔を、その一年後に胃を手術しました。その後二回、一カ月程度の入院をしましたので、胃の方の薬はまだ飲んでいきます。現在の体調は良好ですが、ボケ対策として読書に励んでいます。

◇ 門 居 米 子 (西条)

退職してはや九年になります。

昭和五八年、職場の中で女ばかりで始めた局句会も、現在一三名という句会に成長し、ほとんどがOBとなってしまう今でも、第一土曜日を定例会として、互に旧交を温め合っております。

毎月の例会では、入り易くて奥の深い俳句に、試行錯誤の繰り返しですが、月に一度は集まって、退化する頭に鞭打っている今日この頃でございます。

◇ 越 智 忠 雄 (松山)

第二の職場を退いてからでも、早三年、お陰様で元気に過しています。

在職中に少し習っていた謡曲を、年令相応のものにすべく、NTTOB主体の謡曲同好者の会(勝謡会)に参加させてもらっています。近頃は、年も省みず仕舞に挑戦しています。先生も電々の先輩であり、気軽に楽しんでいます。

市民農園でのささやかな野菜づくりは、素人なりの収穫をあげており、地域の方々とふれ合いもあって、心を慰める場の一つとなっています。

◇ 川 口 勇 (松山)

会員の皆さんには、お変わりございませんか。

早いもので、退職して七年の年月が流れました。

家内と母、娘夫婦に孫二人(男、女)合せて七人が、元気で同居しております。

退職するとNTTも遠く感じて、古きよき時代の職場のことを、想い出している今日、この頃であります。

◇ 大 原 正 峯 (中村)

退職して一四年になりますが、お陰さまで元気です。

退職と同時に大量販店の専務を務め、

昨年、そこを退職しました。

今は中村市区長会理事、地区々長会長(八年)を務めながら、鉄道新設、高速道路新設、中学校新築、雇用促進住宅新設(八〇戸)等々促進協議会の会長を引き受けて、中村市の発展に協力しております。

それで、毎日多くの人に接しますので、ボケ防止になっております。

退職者諸兄のご多幸をお祈りしています。

◇ 神 原 貞 洋 (丸亀)

OBになってはや五年、退職と時を同じくして長女に子供ができ、朝七時半に家を出て、夜七時半に帰宅する日々が続いていますので、好きな旅行にも思うように出かけられません。

昨年、狭い土地に植えたミニトマトが沢山できて、隣近所へ配って喜ばれました。

週に二回、書道教室に通っています。が、一向にうまくなりません。教室で書くのを楽しんで、続けています。

通講の同期生で、高松近郷在住者による、月一回の一杯会も楽しんでます。

◇ 佐 藤 新 太 郎 (坂出)

気まぐれな中にも、今でも変わらないのが、「日日新しいことを求めて、前を向いて歩こう」という、私の人生哲

学です。

時間の経過をことのほか早く感じた「推理小説の読書生活」にも別れを告げ、昨年の四月から、自由な時間を確保しつつ、再度、仕事に精を出し、経営システムのコンピュータ化に取り組んでいます。

その他、OB会を含め、月に二、三回のゴルフも楽しみの一つですが、スコアは年々下降、止めるご教授をお願いいたします。

◇ 佐 野 哲 夫 (石井)

五時(冬期は六時)起床、愛犬と約一時間の散歩で、私の一日が始まります。

中断していたゴルフは、五年程前に再開し、プレーできる喜びにひたっていました。最近スコアが気になる体調にまで戻り、興味が倍加、退職者や町内の皆さんと楽しくプレーしています。

また、退職後の余暇利用にと始めた、板に百福、百寿、般若心経等を刻字する板彫を、これからも気の向くまま、のんびりと刻み続けたいと思っています。

◇ 小 松 原 孝 夫 (高松)

『一〇年一昔』という言葉の通り、間もなく退職して九年の歳月を越えようとしています。

退職後は協栄生命、電話帳広告販売等で同僚達に助けられながら、見聞を広めることができ、本当に有難く思っております。

思えば長いようで短い過去を振り返り、そのいい加減さに、うんざりしている始末ですが、近況といえ、やはり老人大学への入学でしょう。

全くの世間知らずが幸いしてか、多くの仲間ができ、学習では料理教室、陶芸教室あるいは地元の文化財の見学、更にはふるさとの民話を聞く等、体験したことの理解伝々は別として、楽しいものでした。間もなく修了です。

◇ 塩田 利道 (高松)

六一年に退職し、はや七年になる。色々やりたいこともあったけれど、結局いま定着しているのが、ヨーガとカラオケ教室通いである。どちらも心と体の老化防止に効果がある。

たかがカラオケという向きもあるが、人前で歌うことは脳を刺激し、快感ホルモンが分泌され、心身の活性化を呼ぶ………という。

私にとつては、さほどカラオケである。それを信じて、ヘタのヨコ好きながら、今日も鼻歌で頑張っている。

◇ 上 甲 二 郎 (宇和島)

自然に恵まれた山の中で、退職後の健康維持のために始めた、リングと有

機野菜作りも七年になります。

自分では一人前の百姓になったつもりで、自然を相手に、リング、野菜の成長を楽しむ毎日です。

もの言わぬ植物も気配りをしながら手入れをすれば、見事に成長してくれます。

二百本のリングは、四月末に花が咲き、八、九月が収穫の時期で、海拔五百米の御開山は、最高の季節になります。リング狩りにどうぞ。

◇ 多 田 良 藏 (高瀬)

一昨年の秋、六五歳を機に再就職先を退職し、郷里の詫間町へ帰っています。

有為変転、厳しい競争の世界から、今は花鳥風月を友とまでは言い難いのですが、かなり自由な日々を過しています。

健康法は、月並みながらゴルフ、囲碁、旅行、釣、大菊作りと、できるだけ首を出してはいますが、今一つパツとしません。

最近荒れた庭の整備に一日汗を流すのが楽しみの一つになっています。人生なんぼになっても、青春を持ち続けたいものです。

◇ 中 本 陽 (高松)

「ひらり」と軽快には乗降できぬ足腰だが、夫婦共通の趣味は旅行のみ。

最近、専ら安上りのバスツアーに伴って出かけ、夜は必ずカラオケ、普段は歌を忘れたガナリ屋だが、読経で鍛えた声量だけを頼りに、演奏は無視。それで、大抵の人は驚きあきれ。

腐るのは人の脳ミソゆえ、ご容赦あれと頑張っているが、もの忘れがひどくなって、新曲は歌えない。

五〇前まで、鯖のDHAで多くの資格は取ったが、「忘却」すれば、唯のおじん。

妻に「君の名は」と尋ねたりせぬようにと切望する次第。

◇ 中 矢 孝 明 (松山)

退職後早くも一一年が過ぎた。

この間、六年間の再就職、趣味の庭いじり、日曜大工、左官や老人クラブ活動等、比較的有意義に過せたように思う。

存命の父は九四歳、母は八八才である。私も欲張って傘寿までは生きたいと思う。

この先は長いようであるが、案外短いのかも知れない。健康管理に留意し、身体の高齢に合わせ、趣味や諸活動を調和し、家内、娘達や隣人に迷惑を掛けないように、余生を全うしたいものである。

◇ 仁 田 若 利 (牟岐)

退社して一〇年になりました。

幸いにも健康に恵まれ、地域の世話役活動をしなから旅行を楽しみ、シニアソフトボールチームの一員として、健康の維持に努めています。

ところが、最近まで元気に神仏の祭りごとまでしてくれていた親父が、二月一〇日に急逝したため、自営の商業はもちろん、昔という家長の座を相続せざるを得なくなり、残された余生をどう生きるかと、思案しているところです。

◇ 畑 山 繁 好 (高知)

退職して一年目になりましたが、お陰さまでいたって健康、元気に過しております。

年間を通しての海釣りや川釣りは、今シーズンオフで、暇をもてあましており、暖かい季節の来るのを待ちわびております。

近況のおた尋ね、有難うございました。

◇ 花 島 幸 雄 (土庄)

昭和六〇年に退職してから、はやくも八年になりました。

昨年より自治会副会長として、地域社会のお世話をさせてもらっており、す。それに産土神天神々社改築工事々事務局として、また、小豆島八ヶ所札所松風庵及び公園の管理等々で、多忙な日々を送っています。

趣味も山、海と駆け巡っておりますので、病気になる暇がない毎日です。

◇ 濱 田 敏 喜 (南国)

ネイチャーフォトに傾斜、自然と花のアルバム作りを目指して、昨秋は尾瀬へ。紅葉錦繡のドラマに酔う。

ナナカマドの炎の紅色には、鮮烈な印象を受け、近畿電々OB(八二歳)氏との健康談義は、沼畔の山小屋の一夜、薪ストーブを囲んで、暖かい思い出の一つとなった。

さようなら尾瀬、振り返ると燧ヶ岳をめぐり尾瀬沼を渡る風が、私の全身を包み、樹木のささやきが聞こえてくるようだ。ミズバショウや至仏山のお花畑は、今年の計画に入っている。皆様もお元気で……

◇ 東 野 兼 茂 (松山)

私の努力目標は「老化返上」、遊び着は小粋に装って、老人スタイルの追放に努め、氾濫する横文字はメモをとって辞書を繰る。

また、稚拙ながら俳句にも親しんでいる。

新年句会で「熟女らの」と詠んだら、目線の若いあなたなら「淑女らの」となるのではと、女性連から迫られた。

月平均三回のラウンドを楽しんでいるゴルフは、最近飛距離が伸びて、二

百ヤード余り飛ばしたら、若い衆が仰天した。

「日々は青春」、今年もこれで頑張りたい。

◇ 松 本 行 重 (松山)

第二の職場を退いて四年余になります。

二反半ばかりのみかん山を家内と共に作っていましたが、家内が病のため家事一本となりましたので、後は私一人でぼつぼつとみかん作りに精を出している今日この頃です。

そんな訳で、毎日退屈する暇もなしにやっておりますが、お陰さまで私はいたって元気ですので、たまには、老人会の旅行も楽しんでおります。

◇ 真 鍋 健 市 (伊予三島)

在職中は勤務の都合で、地域との交流が少なかつたため、退職後は自治会のお世話をさせてもらいましたが、お陰で顔見知りも増えました。

退屈しのぎに農事を少ししており、健康によいようです。また、趣味はパチンコ、囲碁、旅行等ですが、パチンコは負けてばかりでダメです。囲碁は毎月一回、同好の士六名と盛会、大きな楽しみの一つです。

家族の状況ですが、長女は嫁いで孫が三人、次女は東京で花婿募集中、目下家内と二人暮らしです。さてどうな

ることやら…………。

◇ 柳 川 貞 光 (室戸)

二年半前に食道真菌症という、聞いたこともない病名で、食道を二〇センチ切除する手術を受けました。幸い経過はよく、現在は食べ物の通りが悪い程度で、好きな晩酌もたしなみ、夫婦でゲートボールに興じています。

昨年は初曾孫が生まれ、今年は喜寿。海軍で頭と足に負傷。退職後も何度も手術を受けたのに、よくもまあここまで来られたものだと思う。それだけに、残された人生を大事に、大事に生きて行きたいと思っています。

◇ 和 納 恭 三 (善通寺)

四月末で退職して四年になります。退職を機に、ジョギングと将棋とパソコン通信の同好会に入り、健康管理と老化防止に心掛けています。

ジョギングでは、昨年、還暦記念にとフルマラソンに挑戦し、制限時間の五時間内に、なんとか完走することができました。

将棋は、再勉強に励んでいるのですが、県大会に出ても、余程くじ運がないと入賞できません。

東京近郊に就職している長男に、昨年男子(長男)が誕生し、なんと、私の兄と生年月日が同じでした。

現在、孫は三人半ですが、自宅では

妻と老母のひっそり三人暮らし、夫婦旅行など夢のまた夢です。

現役とOBの交流

労働部四〇周年記念

パーティーに出席して

岡田 恂三(松山)

私にとって、今回(一月一日)開催された「労働部四〇周年記念パーティー」は、昨年末の文書広報課OB会に続いての嬉しい催しでありました。

当日はOB、現役は勿論、来賓の方々も多数お招きしたもので、総数二三〇名という大パーティーで大変盛大を極めました。



〈記念の鏡開き〉

会場はNTTプラザの大ホール、中ホールは勿論、廊下の一部にまで屋台を設けるなど、ほぼ二階全域が使用され、それは人、人、人の波で埋まり、

いきおい動くのもままならぬほどの盛況ぶりでした。

来賓には四国支社から千葉支社長、山賀副支社長、テルウェルの青木四国支部長、全電通四国地本の黒田委員長、他役員、石戸谷松山病院院長等々が見えられ、いかにも労働部記念パーティーならではの印象を受けました。

パーティーは、まず渡辺労働部長から本記念パーティーを開催するに至った経緯など主催者側のあいさつがあり、そのあと来賓代表者による祝辞、続いてOB代表として泉初代職員部長の往時を偲ぶ労使のやりとり、西本元職員部長の労使関係の今昔がユーモアを交えて披露されました。このあと鏡開きを行なって宴会に入り、全員終始なごやかな、楽しいひとときを過ごしました。

私達OBにとって、電友会総会、電信電話記念日におけるNTTの招待による懇親会、さらには各種OB会など、そのつどフレッシュな息吹きを与えられますが、今回のように多くの現役との交流ができたことは、ひとしおこの思いが強く、NTTOBの誇りとNTTの経営安定に対し、いささかなりともお手伝いができればと心に誓ったものです。

第一二回四国交機会を開催して

NTT四国フィールドサービスセンタ所長

仲神 徳彦

去る一月二三日(土)、第一二回四

国交機会を、NTTプラザ松山で開催しました。

当日は、交換システム研究所、高能処理研究室長鈴木滋彦氏を、講師としてお迎えしました。鈴木氏は昭和五一年から五二年にかけて、高知通信部の施設課長をされています。そのとき来襲した台風五号、六号により、日高の交換所等が水没、吾北方面が孤立した際には、災害復旧の陣頭指揮をとられた方です。

講演は「今後の通信ネットワークの動向」と題して、約一時間行われました。その内容をご紹介しますと、NTT収入の八〇％は電話の収入、全国には五六〇〇万のお客さまがいる。このお客さまが、毎日一回(一〇円)だけ使ってみたくなる便利なサービスを開發すると、二〇〇〇億円の増収になる。

そんなにかけなくても週二回、年間で一〇〇回余り使ってくれば、五六〇億円の増収になる。(NTTの平成五年度の経常利益は、一五〇〇億円を割り込みそうなピンチになっている)

NTT対策も大切だが、この種のサービスを一歩も早く実現するよう努力しなければならない。幸いアメリカには、多彩なサービスが何百とあるので、これを参考にすればよいという話に始まり、この種のサービスを実現するためのネットワーク構成は如何にあるべきか、また、外国で行われている

サービス例など、貴重なお話が沢山ありました。

講演終了後は懇親会に移り、来賓には山賀副支社長をお迎えして、ご挨拶を頂き、先輩のご挨拶は白石春三氏から頂いて、参加者一四一名が乾杯しました。

先輩の出席者は一八名、香川からは森田政雄氏、徳島からは長島稔氏、高知からは池内敏明氏が、遠路はるばる駆け付けてくれました。

先輩方を囲んで昔話に花が咲き、同じ部門で仕事をしてきた先輩、後輩の絆を確かめることができました。また、講師の鈴木氏は、盛んに高知時代を懐かしんでおられました。

そうして、あつという間に二時間の懇親会は終り、来年の再会を楽しみにして散会しました。

テルウェルだより

退職者文化活動行事

松山地区の男の料理教室は好評

福祉センターでは、好評に应运えて、第三回目の男の料理教室を、一月二二日、愛媛県生活文化センターにおいて開催しました。

当日の参加希望者は、当初二〇数名ありましたが、生憎のインフルエンザで欠席者が出て、一七名の参加となりました。

講師の岡崎正富さん(テルウェル調理顧問)から、当日のメニューとして・煮焚合のせ(親子玉子とじ)・酢の物(海老、胡瓜)・皿物(魚身ソテー、生野菜)・吸い物(あさり)と材料の扱い方について説明がなされ、四班に分かれて調理に取り組みました。

各班の中には、連続三回参加というベテラン(?)が中心となっていて手際よく調理され、二時間足らずでおいしそうな湯気が立ち込める中、次々と献立が完成。講師からお誉めの講評をいただいて、一同で試食し、残りの料理をバックに詰め、「こんなに上手に出来過ぎると、女房が料理をしてくれなくなるな」などと冗談を交わしながら、和やかな雰囲気の中に散会しました。

母子父子世帯等のお子さまへ

就学・奨学給付金をお贈りします

テルウェルでは、社会福祉事業の柱である生活援護事業の一環として、NTT、NTTデータ、全電通、テルウェルを永年勤続(二〇年以上)して退職された方、または、遺族及び現役社員の世帯で、次の給付要件に該当する世帯に対し、「就学給付金」・「奨学給付金」をお贈りしています。

〈給付内容及び要件等〉

● 就学給付金

(一) 給付額

・ 小学校入学 一時金 三万円

・中学校入学 一時金 五万円

(二) 給付要件

・母子(父子) 世帯または重度
重症障害者、長期療養者のい
る世帯で、小学校、中学校に
入学する子がいること。

・世帯収入が最低生活費の二倍
以内であること。

(三) 必要書類

・戸籍謄本
・身障者手帳(写)……障害者世帯
・医師の診断書……長期療養世帯
・入学通知書(写)

●奨学給付金

(一) 給付額

・高等学校在学 月額 五千元

(二) 給付要件

・母子(父子) 世帯で、母また
は父の扶養する子が高等学校
に在学していること。

・世帯収入が最低生活費の二倍
以内であること。

(三) 必要書類

・戸籍謄本
・在学証明書

長期療養者とは、疾病のため一年以
上にわたり床についている者、または、
老衰のため六カ月以上床についてい
る者をいいます。

〈お申し込み期間〉

●平成五年三月一日～四月三〇日
〈お問い合わせ先〉

●各地区のケースワーカーにお問
い合わせください。

愛媛地区(〇八九)三〇七五
香川地区(〇八七)三〇〇五
徳島地区(〇八六)五〇〇五
高知地区(〇八八)五〇二四

テルウエルの社会福祉事業

「ケースワーク活動にお礼の手紙」

テルウエルの社会福祉事業は、支部
福祉センターを核に、各営業所に配置
されたケースワーカーと共に、キメ細
かなケースワーク活動を行っています
が、具体的には、援護を必要とする世
帯(老人世帯、母子世帯、遺族、障害
者世帯等)に対して、電話や直接家庭
を訪問しての助言、また、場合によっ
ては、経済的援助を行っています。

「ケースワーク」という言葉は、聞
き慣れないと思いますが、社会事業用
語辞典では、「社会的に適応し得ず、
その人自身の努力によつては問題を解
決し得ない人を、個人対個人の関係に
よつて、その人自身の能力を力付け、
地域社会における資源をも活用して、
その人と環境の間の調整を図り、問題
を解決することができるよう援助す
る過程である」と定義されています。
ともあれ、テルウエルのケースワー
カーによる幅広いケースワーク活動に
対して、多くのお礼の手紙が寄せられ
ています。福祉センターとしても、こ

れらの手紙を心の拠所として、福祉社
会事業の一層の充実に努めているとこ
ろです。

健康のこと、老親のこと、教育のこ
と、何でもお気軽に各地区のケースワ
ーカーにご相談ください。

〈お問い合わせ先〉

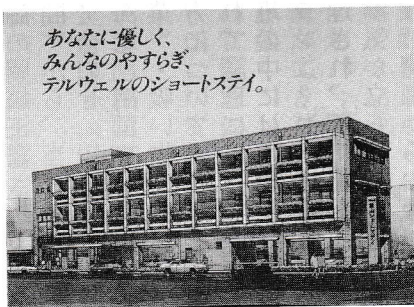
●先に記載した通りです。

松山ショートステイの名称決定

テルウエル松山ショートステイ施設
の建設については、昨年一〇月二二日
に着工し、九月オープンにむけて、順
調に工事が進んでおります。

この施設の名称について募集を行
いましたところ、全国の皆様から一二六
件の応募をいただきました。

厳正に審査しました結果、「ショ
ートステイ・テルウエル愛松園」と決定
しましたのでお知らせします。



あなたに優しく、
みんなのやすらぎ、
テルウエルのショートステイ。

〈愛松園の完成予想図〉



〈舞囃子：安宅を舞う〉

勇士 一敬（松山）

会員を求む

松山の謡いの会から

サークルだより

氏名	死亡年月日	享年	所属
嶋崎鶴喜様	4・4	87	須崎
佐伯順一様	12・12	79	高松
河合寿応様	1・1	78	伊予
板見嘉代子様	5・2	84	丸亀
大平利男様	5・1	67	鯉喜
林 正男様	5・9	64	高松
小笠原太郎様	5・10	88	阿南
亀井一馬様	5・10	88	阿南
須藤兼太郎様	5・1	68	協町
松村定一様	5・1	94	高松
沖 一夫様	5・14	74	徳島
加藤廣光様	5・16	73	松山
乗松春美様	5・18	73	松山
北山幸一様	2・2	83	高松
原田照男様	1・21	87	三本松

敬 弔

次の方々が逝去されました。謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。



〈謡曲をうたっている〉

昭和三十一年に、当時の通信局の職場サークルとして発足した「謡いの会勝謡会」は、今も脈々として続いております。

一月一七日に平成五年の初謡会を松山能楽堂で開催しました。

「謡い」は、腹式呼吸で発声しますので、健康に良いようです。また「仕舞」は白足袋で気分を引きしめ、扇を持って、静かに舞いますので、大極拳にも通ずる健康法とされます。

ハイテク、情報過多の社会に生き、一喜一憂する我々にとって、必要なのは「気分転換」による「活力の創造」であります。

自分から抜けだして、大きな声を出し、動と静のコンビネーションを楽しもう。

電友会の皆さん、いろんなご趣味をおもちでしょうが、謡いにも参加して

ください。松山以外でご希望の方があれば、出張指導もOKです。また「謡い」だけやりたい人、「仕舞」を希望する人、「希望曲」だけやりたい人、結構です。左記へ申し込んでください。お待ちしております。

〈申込先〉 岡田 秀一（松山）

電話 七六一〇〇二二（自宅）

三三七六六〇（勤務先）

●事務局では、各県のサークルからの投稿をお待ちしています。

高齢者通信大学の紹介



愛媛県高齢者通信大学を受講して

仲谷 昭（松山）

一念発起した昨年六月の開講以来、二月までに八講座のレポート提出を終え、なんとか三月の終了式が目前となった。

本大学は、増加の一途をたどる高齢者が、社会環境の変化に順応する能力を再開発する要請にこたえるもので、受講料は無料である。

高邁な目的は別として、私の受講動機は次の通りであった。

一 平素は短詩型の俳句に馴染んでいても、文章はおろか手紙を書く能力さえ、目に見えて減退しているのを強化したかった。

二 少しでも思考の柔軟なうちに、大学講師等による政治、経済、哲学、古代史等について、現在の基礎的レベルがどの辺りかを知りたかった。受講を終えての感想は、次の通りである。

一 大学への集合は三回、あとはすべてテキストによる通信教育で、時間のやりくりが容易であった。

二 期限付のレポート（約七百字でうんざりする長さではなかった）提出で、辞書を片手に文書をまとめることを強いられしたが、適当な脳の刺激になった。

三 レポートは、講師が添削して返送されてくるので、その評価内容が楽しみであった。

四 「自分史」の書き方の指導があり、それを参考に自分の人生の一端（約千百字）が整理できた。受講生が冊子にまとめられて発刊される予定である。

ささいなことではあっても、何かを成し遂げた喜びを持っていることは幸せである。

今は肩の荷を降ろした安堵とともに、終了式での清々しい解放感を味わうのみである。

（参考）

（一般講座）

政治、経済、社会、哲学、歴史、文化、福祉、保健の八科

目に特別課題として自分史

本の紹介

『続わが道』を読んで



穴吹 義教（松山）

近藤寿一さんが『わが道』の続編を出された。『わが道』の出版されたのが昭和六二年三月のこと、あれから丸六年の歳月が経ったわけだ。

正編の印刷に多少関わらしていたが、著者の自費出版への情熱が並々ならぬものであると感じ、ただ脱帽するだけであった。

「まだ書き足りないところがあるので、いづれそのうち続きを出します」

淡々と語られた近藤さんの口調が、昨日のように思い出される。

続編は、そう容易に出せるものではないので、「外交辞令」と私は受け留めていた。それだけに、見事な『わが道』を手にして、驚きと敬服の交錯する傍ら、かりにも外交辞令と速断した自分を恥じ入った次第である。

さて、本書の内容は、ここ六年間に書き溜められたものだけではなく、長年にわたり心血を注がれた、労働判例（ダイジェスト版）に六〇余頁の紙面が割かれている。当初正編に収録する予定だったが、紙面の都合で割愛せざるを得なかったよし、それだけに、著者の念願が続編で満たされたわけであ

る。その労働判例を除けば、概ね六年間にわたって執筆の軌跡が披露されていて、近藤さんの精神遍歴の跡をたどる縁となる。

若いときに学業なかばにして臨時召集、戦線での死線を越えた苦難の道。つづいて敗戦を境に、軍国主義から一転して民主主義の洗礼を受け、その苦悩の道などなど。その時々の道標を、著者独特の冷徹な目で描写している。読み応がある。同世代の人々には、共鳴するところ少なからずと申し上げたい。また、東京中電での大掛りな改式に、人事係長として臨まれた際の真摯な姿勢が、電電公社在職中、いづれのポストにあっても変わることなく、脈々と流れていていたことを思い、「流石に近藤さん」の思いを深くしながら読ませていただいた。

女流俳人岡本眸が引き合いに登壇しているのも、秘められた幅広い人脈の一端をうかがい知ることができて、興味深い。

寒木瓜やわが病み勝ちを兄嘆く

岡本眸の句であるが、この句の兄岡本幸貴氏が、近藤さんが在京中の敬愛する先輩だったそうで、数年前にガンのため物故されたが、氏の仏前に献ずる思いで読編の筆を走らせた様子が、痛いほど読者に伝わってくる。

露草や精一杯に生きてをり
幸貴先輩の辞世句が紹介されている

が、近藤さんの信条にも一脈通ずるものがあるのではなからうか。そんな気がしてならない。

このほか、折りふれて書き留められた短文の「随想」には、著者の人生観を垣間見ることができ、おのが航路を開拓して行く永劫の若さとバイタリテイが、続編を生む原動力になったものと思う。筆者の忍耐と熱意に敬意を表しつつ、拙文を綴らせていただいた。

随想



美空ひばりさんの思い出

向井 満男(松山)

美空ひばりさんが亡くなられて、六月で満四年がようとしていきます。今日に至っても、未だに多勢のファンが全国にいることを思うと、如何に偉大で、残した業績が大きく、人々に忘れられない大きな感動を与えてきたか、よく分かります。

そのためにひばりさんは、生前、毎日を苦しみと喜びを味わいながら、人知れず努力を重ねてこられたのですが、そのことは、誰もがよく知るところで、今更私が申し上げるまでもございませ

ん。戦後、日本の国民はどん底生活を味わいながら、その混乱期をなんとか切り抜けることができたのも、そこにひばりさんの歌があったからだとい

も過言ではない、と私は思うのです。

当時、昭和ひと桁生れの人は、青春時代の真直中で、自分にも何か出来ると思ふ人が沸き、新たな人生を切り開いた人も多かったと思います。また、そうでなくとも、大なり小なりひばりさんから受けた恩恵を、各自の胸の中にしまっておられる方も、多数おられるのではないでしようか。

そのひばりさんが、まだ無名の時代に、彼女の大きな出発点となった事件が、四国で起こっていたのです。

高知県大豊村(現在の大豊町)のバス転落事故を知る人は少ないと思うのですが、九才にして九死に一生を得たひばりさんは、樹齢三千年ともいわれる大杉に、生れ変わって日本一の歌手になることを誓ったことがあります。

事故は、昭和二年四月二十八日の午前九時過ぎ、高知県本山駅から大杉駅へ行くバスが、旧高須トンネルを出て約二百米走った所で起きたのです。

ひばりさんが乗り合せたバスは、トラックと離合中、段々傾いて横転。ひばりさんは左手首を切って大量出血、そして胸部圧迫による呼吸停止と、最悪の状態でした。

しかし、村人と同乗者らの機敏な行動により、ひばりさんは一命を取り留めたのですが、悲しいかな若い車掌さんは、亡くなられました。(事故後の様子を見聞した、現場近くの鎌倉登

代さんは、ひばりさんと車掌さんをして、この時のことを書き残しておられます。また、大豊町関係者や有志の方々の間で、最近、記念事業を進めているとの話を聞きます)

今年は横浜で、美空ひばり記念館を作るべく、関係者による計画が進んでいます。私は、美空ひばりの出発点ともいべき大豊町の現地に、亡くなられた車掌さんのためにも、ひばりさんの業績にぴったりの日本一の大杉と共に、一つの記念館をと考えているひとりです。

四国には、他にも多く記念すべき場所があると思いますが、ひばりさんには大杉が似合っています。五年目を節目として、これら企画が実現することを願っています。

私とひばりさんの出会いは、昭和二年の秋、ラジオ放送で、彼女の歌を聞いたときに始まります。余りにもうまい歌声に聞きほれたものです。加藤和枝とはどういう人かと、NHKの松山放送局に尋ねたことがあり、この歌手が、美空ひばりさんであることを知ったのは、昭和二年頃で、映画を見

る一方で、レコードを買い漁りました。その後昭和七年と二九年に、松山オリオン劇場のステージに立たれたことがあり、お逢して写真を撮らせてもらい感激したものです。

松山では入場できない人達が、劇場

我が隊は、中支那方面軍の指揮下に
入り、湖南省平江県新市に通信所を開

井上 政夫（松山）

機材輸送

どっこい私は生きている



昭和29年2月1日(17才)
於：松山オリオン劇場

の周辺を埋め、歓声を上げるファンは、公演が終っても帰ろうとせず、ひばりさんは帰れなかったそうですが、そのファンの中に私がいたことは、いうまでもありません。哀調を帯びた歌声、明解な内容と派手さのない舞台は、公演が終った後も、いい気分に浸ることができたのです。

その後も、ひばりさんの歌声に励まされながら、私は仕事に精一杯取り組んできました。ありがとうひばりさん。よみがえれひばりさんと声を太に訴えたい気持ちです。最近、妹の勢津子さんが歌手としてデビューしたので、ひばりさんのためにも応援し、ひばりさんの歌を永く残してほしいと願っています。

設し、通信と線路確保を任務とする。私の分隊は、機材監視のため占領直後の廢墟、長沙市に先發隊として派遣され分駐する。

某月某日

本隊から機材輸送の命を受けたのは、志堅原上等兵（北海道出身、四年兵）以下四名で、私は先發隊の助手として対空監視にあたる。

昼前、擬装した二台のトラックは、一路でこぼこの軍公路に土煙をあげて進發する。真夏の太陽がデリデリと照りつける。揮一つに鉄帽、誰も見ている者はいない。

突如、「ウィーン、ウィーン」とロッキードだ。晴れた日には臨時便までやって来る。

「またか」と思うが、かなり上空を飛んでいる。早く行かねば日が暮れるとばかりに、聞き流してぶっ飛ばす。

数分後、正面の山陰から耳をつんざく金屬音。「しまった。今度はカーチスだ」と叫ぶ間もない。

敵八機は、傍若無人、石を投げたら届く程の距離。代る代る銃撃を加え、弧をえがいて上昇する。「バリバリ」という銃撃音と、「ブスブス」と弾の突きささる音が断続的に交錯する。その中の一発が私の鉄帽を貫通。「やられた」と思ったが、命に別条ない。

車から飛び降りて、崖下にもんどり打って転げ落ちる。たまたまそこに大

木があり、とっさに身を寄せる。木の葉が銃弾を浴び、千切れてヒラヒラと舞う。

五尺一寸の身体を隠す場所がない。ままよとジャンプして、横の池に飛び込み水に潜る。

危険は去った。フト我に帰ると、パチパチという音。トラックが黒煙をあげて燃えている。

後続車の弾薬箱に引火しなかったのが、せめてもの幸であった。先頭車半焼、後続車一部焼損で済んだが、頭部がヒリヒリする。手で触ると髪の毛が擦り切れて血がにじんでいる。

奇跡だ。よく助かったものだ。神様、仏様有難う。

浪音にくるまれて（その一）

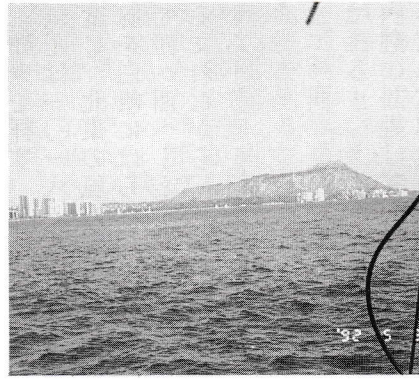
ヨット「汀三世」号で太平洋横断

北 哲朗（松山）

一夜明けると、穏かな紺碧の海がもどってきた。真っ青な空の彼方から、北東貿易風が「汀三世」号を西へ西へ、セールは満開だ。

昨夜の時化がまるで嘘のような、風力三の追手が、心地よく身体を吹き抜けて行く。ここは西経（W）一六三度四三分、北緯（N）二〇度四〇分。九二年五月五日の朝である。

ハワイを出航して四日目、懐かしいワイキキのダイヤモンドヘッドも、すっかり水平線に消え去った。三六〇度



〈ダイヤモンドヘッドを望む〉

が正に海、太平洋のご真中である。そろそろ陸地への未練と、娑婆気にサヨナラできそうだ。

一昨夜来の時化は、風速三〇米の寒冷前線との戦いだった。波高五〜六米の大波に翻弄され、パンチに次ぐパンチに悲鳴をあげて共振するハル（船体）と共に、耐え抜いたこの日のデイ・ラン（一日の走行距離）は、一九〇マイル。厳しい波濤の洗礼を経て、いよいよ果しない海路の旅人となる。

艇は三七フィートのカタマラン（双胴船）ヨット。昨年五月、友人のヨットマン石川氏（伊予三島市）を介してアメリカ東海岸のフロリダで購入した中古艇。英国ビルダーのプラウト社製で、形名をスノーグース37という。オーナーは、イギリス人、アメリカ人を経て、日本の私で三代目。老後を瀬戸内海で私と共に過すことになろう。

キーウエストで上架整備の上、石川氏のご尽力で、カリブ海を渡りパナマ運河を経て太平洋へ。そして、アカプルコからハワイへ回航してもらった。昨年の三月三十一日付、六三歳でリタイアして、直ちに渡米。四〇数年のサラリーマン生活（NTT）に訣別するイベントとして、気力・体力の限界に挑戦し、自由人となることを、自らのケジメとして心に決めた。この上は実行に移るのみだ。

ホノルルのアラワイ・ヨットハーバで上架整備に着手。老朽したリギンの取り替え、セールの補修、ジブファール（船首の帆）を取付け、船体とマストをロイヤル・ブルーに塗り替え、船底塗料の塗布、エンジンの整備、艀装点検等々。ハワイでの二〇日間は、油まみれの船舶労働者として、アツという間に過ぎて行く。

ワイキキの砂浜で肌を焼く、まぶしい白人娘のプロポーションも、現地娘の常夏のフラダンスも脇見てすませ、四月末、ホノルルの出入国管理局へ出国手続。艇をヤードより進水させて、出航体制に入る。

現地のスーパードાયエイと白木屋で、四〇日分の食料品を買付け、燃料の軽油を積み込み、給水等万事OKだ。

五月一日の金曜日は、ハワイヨットクラブ主催のフライデイ・ヨットレースがある。毎週一回行われる地元の名

物イベントでもある。お別れの思い出に、その見事な帆走を楽しく観戦しつつ、現地でお世話になった人々へ、心秘かに「アロハ」を告げた。そして五月二日の一三時、ホノルル港をスタートした。

五月一二日、午前四時〇〇分、西経一八〇度〇〇分、北緯二一度。この瞬間、デイトライン（日付変更線）を通り、五月一三日となる。GPSの表示は東経一八〇度〇〇分を鮮やかにディスプレイし、西洋よ「サヨウナラ」と告げる。そして清々しい東洋の朝を迎えた。

ポケットメモには、「本日曇天にて、我日付のしるし線を発見せず」と記し、その感慨を込めた駄句などを綴る。

日付ドラ聞きにし思い伊予水軍
東洋の朝を告げにしさつき海
貿易の風を背に背に變更線
瀬戸内の汀なつかし北帰行
島のごと朝日に映える茜雲

『西洋と東洋の別れ道』
茜に染めた 海と空の彼方

ダイヤのきらめきを撒きながら
黄金色に 染め変えてゆく

今日の一日が始まった
太陽の下辺が水平線に接するとき
私はこの日世界で最も早く

朝日を見た

ここは東経一七九度二〇分
北緯は二一度〇〇分



〈寒冷前線に遭遇〉

(二)

ハワイを出でて 一日目
誰が決めたか 日付変更線
西洋よサヨウナラ

今日から私は東洋の人
東西の分水路 文明の別れ道
只今 大洋のシルクロードを往く
自然のリズムよ 宇宙の偉大さよ
黄金の衣の中に微笑む大日如来
私はこの日世界で最も早く
如来を拝す

気圧は一〇一八ミリバール、気温三
〇度C、北東の風力三、四、快適な貿
易風を白帆にはらみ、〈汀〉は七ノッ
トで西へ西へ……。太平洋の浪音に
くるまれながら、コンパス針路は、ひ
たすら小笠原を目指す。(つづく)



四国霊場巡拝を終えて 喇嘛寺院の思い出

小倉 浄一(松山)

シベリヤで二年余りの抑留生活後、
六万人とも伝えられる戦友ら犠牲者の
無念さを思いつつ、私は九死に一生を
得て、ナホトカから舞鶴を経て故里へ
帰って来ました。

帰国途中、荒れ果てた山野、焼土と
化した町や村に声をのみ、祖国復興と
戦争の犠牲となった同胞への慰霊の意
を込めて、私は八八ヶ所を巡拝するこ
とを考えていました。

年月は流れ、第一、第二の職場を卒
業した後、二年かけて、宿願の四国霊
場巡拝を果し、安堵しております。

少し落着いた昨今は、信仰厚い蒙古
人の喇嘛寺院拝観の日を思い出してお
ります。

それは旧満洲で在職中、奉天で有名
な蒙古嵐に襲われたことと関係があり
ます。天日暗く黄塵万丈、自動車はラ
イトをつけてノロノロ運転、人馬の往
来も絶える凄惨な嵐を蒙古嵐と呼んでい
ます。

この嵐の発生地は、内蒙古と熱河省
(満洲)の砂漠地帯ですが、蒙古人は
この熱河省にも住んでおり、そこには
ラマ寺院があります。

私はそのラマ寺の一つを尋ねて、承
徳(熱河)駅で下車、日本人を捜すも

見当らず、異邦人の往来する道を北へ
向って一時間ほど歩き、荒涼たる広野
の土塀で囲われた一郭に、常緑樹の茂
る境内と極彩色の建物を見つけ、近寄
ると、それが目的のラマ寺院でした。
門内へ入ると、二、三人のラマ僧が
来て、私にそこで待つようにと指示し
て引き返し、しばらくして、三人の中
年の僧を連れて来ました。

しかし、蒙古語と日本語では互に意
を通じるのは難しく、中国語で話すと
先方も了解して、私の寺院内を拝観し
たいという申し出が入れられ、ラマ僧
の案内で、秘室の仏具等を見てまわる
ことができました。

寺の中央部には、特別に明るい部屋
があって、その中央に二米半と両側に
二米余りもある黄金の仏像が安置され
ており、その三体の仏像の輝きが、部
屋を一段と明るくしていたのでした。

見聞きしたところによれば、金是他
の仏具にも使用されていますが、屋根
瓦の一部にまで使われているよし、熱
河省を旅行する人が、遠くから黄金の
光を空に放つラマ寺を望むことができ
るというのも、うそではなかったのだ
です。

大陸人の鷹揚さと好意に甘え、招か
ざる日本人の一人旅が、無事に終った
ことを感謝しました。



光陰矢の如し

岡田 恂三(松山)

年をとるにしたがって月日のたつのが早くなる。ついこの間正月を迎えたばかりなのに、いつの間にかカレンダーも僅か一枚を残すのみとなってしまう。やがて迎春の花とも云える山茶花も咲きはじめるだろう。

年明けて含らみ染めし白梅の

小春日待ちて開きはじむる

今年一月中旬の下手な作品である。事実、門から入って左側の白梅が恰度一月一五日に一輪咲きはじめたと日記に記録してある。寒気が増すにつれ、飛来する野鳥の数も増加し、もちの木や万両の赤い実が喰い荒され、つくばいの側に糞などが多くなるのもこの頃からである。下旬頃になると、反対側の若木の紅梅が咲きはじめる。月が下るにつれて椿、沈丁花、福寿草、落のとう、水仙などが順次咲き、次第に花の季節の春を迎える。月日はこのように四季を運び、人々を楽しませてくれる。

私もNTTを退職して早くも一〇年の歳月を迎えようとしている。月日はまた人々に厄介な故障を運んでくる場合も多い。

秋立ちて蟬に似た声わが耳に

かすかなりしも老いの兆候を格別、日常生活に支障はないがこれも

一種の老人病であろうか。

この頃では、自分の生活リズムをしっかりと持ち、極力、若い人達との出会いを大切にするなどして、せめても気が持たなくても若くありたいと願っているが、それでもなお光陰は「老い」という二字を容赦なく運んでくる。いかにせん、これをせきとめる方途はない。

現世は旅にあらむかひたすらに

歩みつづけむこれからもお

これも老いへの気持ちであろう。

万葉集に「物皆は新しき良しただしくも人は旧し宜しかるべし」と詠まれているが、本当にそうだったのだろうか。多分に負け惜しみのにも思われる。

遠く中国の李白の詩文集に「それ天地は万物の逆旅にして、光陰は百代の過客なり。浮生は夢の若し」(そもそも天地とは、この世の万物を迎えては送り出すはたぐやであり、流れる月日は永遠に旅をつづける旅人である。われわれのはかない人生は夢のようなものである)と記されている。どうだろう、こう考えると何か救われるようにも思われるが……。

私は前に「主語と述語」と題し、人間の存在そのものに価値をもたせた人生観を紹介したが、これからも命の歩幅を拡げるよう努力し、いつまでも共に幸く生きんことを願うこの頃である。

(平成四、一一、一五)

表紙の言葉

翡翠(かわせみ)

莊野 丹秀(内海)

近頃あまり見かけなくなった鳥であるが、背や翼を青く光らせて、水面を低く翔行する姿は美しい。

まさに宝石の翡翠が飛んでいるようで、そんなことからついた名前ではあるまいか。大切に保護したいものである。

題 字

長谷川幽斎(茂)氏です。

原稿募集

- 一 近況短信 (四百字程度)
 - 二 短歌、俳句、川柳
 - 三 サークルの活動状況
 - 四 随想等 (八百字程度)
- 〆切は五月末日です。会員多数からの投稿をお待ちしています。

四国電友会会報 第八二号

平成五年四月一日

編集発行 電友会四国地方本部

松山市一番町四ノ三

NTT四国支社内

電話(〇九七)三二〇三

印刷 四国電話印刷株式会社

どうぞ 開いてください！ 「利用しやすくなったタウンページ」

タウンページは、利用実態調査やアンケートでの「お客様の声」をもとに、次の3点について検討を重ね、発行ごとに改善をしています。

① 職業名や取扱い商品名、サービス名など索引のメンテナンス

タウンページは、職業や取扱い商品、サービス内容からお店を探す方法をとっています。タウンページを利用される方がその職業名や取扱い商品名、サービス名を自然に思い浮かべ、検索できればなりません。社会の変化に伴って常に索引を見直し、新鮮で身近なことばとなるようにメンテナンスをおこなっています。

② 電話帳掲載のコンサルティング

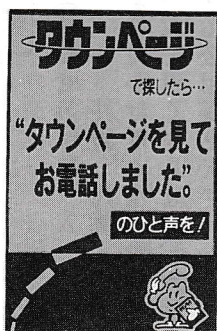
電話帳を利用される方が検索しやすい内容となるように、一定の基準で掲載していただくようコンサルティングをおこなっています。

③ 広告規格の見直し

電話帳を利用される方の検索を妨げず、且つ広告料金に見合った効果のある広告規格、レイアウトとなるよう広告規格の見直しをおこなっています。



Where's Wally? ©Martin Handford 1993



「タウンページを見てお電話しました」運動も実施中です。

NTTでは社内の電話機に「タウンページを見てお電話しました」というシール（左のカットを参照）を貼り、タウンページに広告を載せていただいているお客様に電話をする際は、「タウンページを見てお電話しました」のひと声をかける運動を昨年から実施しています。

四国電友会会員の皆様にもぜひ、タウンページでお店を探されたら、「タウンページを見てお電話しました」のひと声をよろしくお願いいたします。

お問い合わせは NTT四国電話帳事業推進部 ☎(0899)36-2111